

Well-being City いるま～健康と幸せを実感できる未来共創都市～

埼玉県入間市（2022年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	<p>本市は、都心から40km圏にあり、主要道路は、一般国道16号をはじめ、首都圏中央連絡自動車道の入間ICがあることから、利便性の高い交通網が形成されている。製茶業に関して、狭山茶の主産地であり、その生産量、栽培面積も県下一を誇っている。</p> <p>課題として、20代の層の転出超過幅が長く続いている。地場産業の茶業を中心とした農業は、後継者不足等により顕在化している担い手不足の解消を図る必要がある。少子高齢化による高齢者数の増加により、社会保障費が年々増大している。</p> <p>官民連携による地域資源を活かした未来共創のまちづくりにより、誰もが心身ともに健康で幸せを実感できるまち「Well-being Cityいるま」の実現を目指す。</p>	2. 関連するゴール	
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	【経済】スマートヘルス・シティ…狭山茶や市内企業の技術や活力を生かした取組により、にぎわいと健康の好循環を確立する 【社会】ウェルネス・シティ…デジタル技術や新しいサービスを活用して、誰もが生き生きと暮らし続けられるまちづくりを進める 【環境】ゼロカーボン・シティ…地域新電力の設立や公共施設への再生可能エネルギーの導入を進める		
4. 自治体SDGs推進等に向けた取組		6. 取組成果	
1. AI・IoTを活用した地域課題の解決（社会） <ul style="list-style-type: none">・脱炭素型ライフスタイルへ行動変容を促すアプリ「SPOBY」を活用して、「サステナブルウォークいるま」を実施 2. 官民連携によるゼロカーボンの推進（環境） <ul style="list-style-type: none">・環境負荷の軽減と災害レジリエンスの向上、市民への地球温暖化防止に対する意識啓発のため公用車EVカーシェアリングを実施・官民連携型の「地域新電力」の設立による脱炭素化の推進 3. 地域資源を活用した観光周遊の創出（経済） <ul style="list-style-type: none">・ポタリングによる周遊観光やヘルスケアツーリズム推進のため観光パンフレット等を作成・作品のロケ地に市の景観を活用するロケーションサービスを実施・多様な主体との連携によるSDGsの達成や地域課題解決の体制構築		1. AI・IoTを活用した地域課題の解決（社会・環境・経済） <ul style="list-style-type: none">・市民の脱炭素ライフスタイル転換促進、地域店舗の集客向上・活性化に一定の効果 アプリダウンロード数3,200件（2023年度） 2. 脱炭素型まちづくりの推進（環境・経済） <ul style="list-style-type: none">・公用車EVカーシェアリングの市民利用件数142件、走行距離9,005km(2023年度)・当市と地域新電力会社「いるまe-MIRAI株式会社」で地域課題の解決とエネルギーの地産地消の同時実現等を目的に協定を締結、脱炭素化の達成に向け前進した・観光パンフレット「いるまの間。」を作成（日本語版35,000部、英語版5,000部） 近隣5市（所沢市・飯能市・狭山市・入間市・日高市）で構成する協議会にて、サイクリングマップを作成（8,000部） 3. 持続可能な地域経済の推進（経済・社会） <ul style="list-style-type: none">・ロケーションとして様々な映像作品の舞台に活用され、入間市のPRを促進 ロケーション利用件数21件（2023年度）・市独自のパートナー制度として「入間市SDGsパートナー」を令和5年12月に立ち上げ、同パートナーをメンバーにプラットフォーム「いるまSDGsラボ」の運用を開始 登録企業・団体27者（2024.04.11時点）	
5. 取組推進の工夫		7. 今後の展開策	
<p>市民へSDGsの周知啓発を行うとともに、市内企業のSDGsの取組を紹介し、市全体でSDGs推進の機運の醸成に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none">・毎月1回発行する市広報紙にて、SDGs特集コラムを連載・市内企業の取組を地域のラジオ番組や市公式YOU TUBEで紹介		<ul style="list-style-type: none">・子どもたちがSDGsに関する社会課題を主体的に考え、自らの意見を効果的に伝える力、社会と繋がる学びや経験を得る機会の創出を目的に「いるまSDGs4コマ漫画コンクール」を実施・当市が運用する官民連携、SDGsの達成、DXプロジェクトの創出を推進する3つの官民共創ラボの成果周知、更なる共感共創の促進を目的にシンポジウムを開催（2024.9.28）	
8. 他地域への展開状況（普及効果）	他県からの視察等受け入れ（鹿児島県鹿児島市、愛媛県松山市他）		